令和８（2026）年４月１日制定

2035年に向けた奈良教育大学のビジョン・ミッション・目標・主たる取組　ver.1.0

◆ ビジョン

多様な人々に学びの機会を提供し、教育によって地域創生や持続可能な社会創造に貢献する大学

奈良教育大学は、教育学、人文・社会科学、数理・自然科学、芸術、スポーツ科学等の研究を基に、同一法人である奈良女子大学、他の学術機関、自治体、産業界等と協働し、１.新人教員の養成・輩出、２.現職教員・学校教育の支援、３.教育による地域･社会貢献、を果たします。そのために、子供や学生のみならず多様な人々に質の高い学びの機会を提供し、地域はもちろん我が国や世界が教育によって持続可能な未来社会となるよう挑戦していきます。

◆ 教学におけるミッション・目標・主たる取組

ミッション	目 標		主たる取組	
1. 【新人教員の養成・輩出】 教育によって未来社会を創造する強い意志と使命感を持ち、学校現場の諸課題に対応できる高度な実践力と専門性、及び奈良教育大学の特色によって培う強みを備え、時代を拓き社会を牽引する新人教員を養成し輩出します。	1-1	教育によって社会に貢献する使命感、新たな教育や学術文化を創造する意欲と実行力の涵養	1-1-1	教育的・学術的探究活動やフィールドワークを通じた「意欲」と「使命感」の涵養
			1-1-2	地域課題解決への参画促進による社会貢献のための「実行力」の育成
			1-1-3	「使命感」「意欲」「実行力」を育成するキャリア支援プログラムの実施
	1-2	基礎・教養、教育に関わる専門性、研究力と、文理を融合した統合知、学際性、国際性の育成	1-2-1	奈良カレッジズ諸機関等との協働による基礎・教養、文理を横断した統合知の育成
			1-2-2	学部はR8、大学院はR10カリキュラムによる専門性と研究力の育成
			1-2-3	留学、留学生との交流、ESDユースネットワーク交流等による国際的視野・対話力の育成
	1-3	奈良教育大学の強みや特色を生かした課題解決型実践力と「持続可能な社会の創り手」を育成できる実践的力量の育成	1-3-1	奈良の歴史・伝統文化、ESD等を横断する教育コンテンツの提供による実践的力量の形成
			1-3-2	自然科学・科学技術にとどまらず、応用科学・社会科学・人文科学・芸術などを含む科学の素養の育成
			1-3-3	「奈良県教育課題プログラム」「奈良教育大学特色プログラム」の実施（※１）
2.【現職教員・学校教育の支援】 教育委員会・学校現場・国内外の教育研究機関との協働を通じて、現職教員の高度な実践力・研究力を育成するとともに、学校が抱える課題の解決を先導し、地域の教育力の向上と持続可能な学校教育の構築に貢献します。	2-1	現職教員の資質向上と学び直しを牽引する「高度教員研修拠点」の構築と学校教育支援	2-1-1	教育委員会・学校現場・現職教員の研修ニーズに対応し、地域の固有課題や実情に即したオーダーメイド型講座や連携研修の実施
			2-1-2	いじめや不登校、AI利活用を含む学校DX、文理分断等、現代的教育課題の解決に向けた学校支援
			2-1-3	全国の現職教員を対象に、「ESDティーチャープログラム」「ESD国内コンソーシアム」「ESD国際パートナーシップ」等による質の高いESD実践力の育成（※２）
			2-1-4	オンライン・オンデマンドの活用による全国からの現職教員受入等、大学院における高度教員研修機能の強化
	2-2	現職教員や学校の研究力の高度化と、実践研究に基づく現代的教育課題の解決及びそのモデル創出	2-2-1	学校現場との協働による「校内研究」の高度化支援と、組織的な授業改善・学校改革の推進
			2-2-2	現職・附属教員との共同研究を通じた、現代的教育課題の解決策および「次世代教育モデル」の創出
			2-2-3	大学院における、学校現場の課題解決に直結する高度な「実践研究力」育成の充実
3.【教育による地域・社会貢献】 本学が有する学術の知見を広く社会へ還流し、多様な人々の学びとキャリア形成を支えるとともに、地域や産業界と連携して、教育の力で地域課題の解決と持続可能な社会の創造に貢献します。	3-1	教育についての学びを生かして地域創生や持続可能な社会創造に貢献できる人材の育成	3-1-1	教育についての学びを地域創生や持続可能な社会創造に活かす学修の推進とキャリア支援
			3-1-2	企業や自治体等における人材開発・組織マネジメント・SDGsの推進等を牽引する、社会人のための「高度リカレント・リスキリング教育」の推進
	3-2	地域、及び国内外におけるコミュニティと協働し、教育資源を活用した地域創生や持続可能な社会創造の推進	3-2-1	「なら産地学官連携プラットフォーム」諸機関とともに、教育による地域創生や社会創造の推進（※３）
			3-2-2	「親性育成プログラム」の構築・実践による少子化対策の推進（※４）
			3-2-3	学生による地域課題解決・持続可能なまちづくり・過疎地域支援等の推進

※1

「奈良県教育課題プログラム」： へき地教育や不登校支援など、奈良県の喫緊の課題に関する専門的力量を身に付けるためのプログラムであり、山間地教育入門の履修を含む「へき地教育・地域創生」、不登校支援奈良県公設フリースクールでの活動を含む「学校フィールド実践」が設定されている。

「奈良教育大学特色プログラム」： ESD、理数教育、特別支援教育など本学の特色（強み）を生かした専門的力量を身に付けるためのプログラムであり、「新理数スーパー・サイエンス・ティーチャー（SST）」「新理数スーパー・サイエンス・ティーチャー・ベーシック（SSTベーシック）」「実践的特別支援教育」「ESDプログラム（ESDティーチャー）」「スクールサポーター（１級・２級）」「文化遺産教育」が設定されている。

※2

「ESDティーチャープログラム」： ESD（持続可能な開発のための教育）についての理論と実践力を兼ね備え、「持続可能な社会の創り手」を育成できる指導者を養成するための研修プログラム。ESDティーチャー、ESDマスター、ESDスペシャリストの３段階で認証する。

「ESD国内コンソーシアム」： 持続可能な社会の実現に向けて、全国各地でESDに取り組むコンソーシアムや全国レベルでESDを推進する多様なステークホルダーが参画・協働するESDの重層的なネットワーク。

「ESD国際パートナーシップ」： 持続可能な世界の実現（SDGs）をめざし、各国の研究者や教育者、ユース等が、国境と分野、世代を越えて地球的課題の解決のために連携・協働するESDの国際的パートナーシップ。

※3

「なら産地学官連携プラットフォーム」： 奈良県内の産業界、地域・住民、高等教育機関、地方公共団体等が連携・協働し、新たな価値を生み出す基盤として、2023年11月16日に設立した。奈良国立大学 機構の「奈良カレッジズ連携推進センター」がコーディネートしている。

※4

「親性育成プログラム」：「親性」とは子供への共感性や反応性のことで、乳幼児と接する機会を持つことによって準備される。妊娠期や親だけでなく、中高生も含めた 社会全体で育成するための教育プログラム。